

マネージメント・レター No.260
資産運用と投資の違い

証券会社の窓口に行くと「何を買えばいいのでしょうか？」と質問している顧客を見かけます。そのやりとりを聞いていますと、この顧客は資産運用と投資を混同しているのかなと感じることがあります。

株式投資をする、利率の良い銀行の定期預金をする、アパートを購入する、など最終的な目的はなんでしょうか。おそらく多くの方は、将来金銭的に余裕のある生活を送ることだと思います。

その手段の一つとして株式に投資をしたり利率の良い定期預金にしたりするのではなないでしょうか。一般的に「投資」と「資産運用」は同じように扱われがちな概念ですが、英語にしてみるとその違いわかるような気がします。

資産運用=Asset Management

投資=Investment

つまり、資産運用とは持っている資産をどう活用するのかという概念であり、何を買うのかという投資の概念より上位にあるものと考えます。

戦略：資産運用（資産（金銭・不動産など）をどう活用するのか）

戦術：投資（何を買うのか）

ということになります。

昨今は金融機関の金利も低く不動産の価格もひところよりはかなり低くなり、預金しておくだけで増える時代ではなくなってしまいました。

会社の経営においても景気回復を待っているだけでは難しくなっているような気がします。財務状況をしっかり把握して資産運用を考え、的確なところへ投資をしていくことが必要なのかもしれません。

 今月のワンポイント 

電子申告で還付申告を行った方は、支払予定日等、還付金の処理の状況について、e-Taxメッセージボックスの確認で処理状況が確認可能となりました。詳しくは国税庁 HP に掲載されておりますので、ご確認ください。